

治水対策

久慈川
那珂川

●^{かきわ}堅磐河道掘削

里川が久慈川に合流する堅磐地区は、流下断面が大きく不足しており、洪水時の危険性が高いため、河道掘削により流下断面を確保します。

河道掘削にあたっては、河道内の樹林帯に関東最大級のサギコロニー（営巣地）が形成されていること、周辺はアユの産卵床になっていることに配慮し、これらの貴重な環境を保全しつつ、高水敷の掘削を実施します。



●^{みたんだ}三反田築堤

昭和61年及び平成10年の洪水により、浸水被害の大きかった茨城県ひたちなか市勝倉・金上・三反田地区の無堤部において堤防整備を進めます。今年度は、築堤にともなう樋管の新設工事を実施します。



●JR水郡線橋梁・水府橋架け替え（特定構造物改築事業）

水戸市内の那珂川に架かるJR水郡線橋梁及び水府橋はともに老朽化が著しく、河川敷に盛土部が張り出して洪水時のネック箇所となっています。昭和61年の洪水被害の後、両橋梁の上下流の堤防の改修を進めてきましたが、治水効果をさらに発揮するため橋梁の架け替えを平成15年より実施しています。



河川の環境整備

●東海環境整備事業

スポーツ活動や自然散策等による地域住民及び来訪者の健康増進を目的に、東海環境整備事業を実施します。東海村と国土交通省共同で、ソフトボール場、サッカー場、福祉トイレ、散策路、親水護岸等の整備を行っています。



●桜川清流ルネッサンスII

水戸市を流れる桜川流域は、都市化に伴い生活排水の流入等による水質悪化が進み、夏にはアオコが発生し、水環境の改善が強く望まれています。



桜川クリーン作戦の状況

このような状況をふまえ、平成19年2月に「第二期水環境改善緊急行動計画（桜川清流ルネッサンスII）」を策定しました。

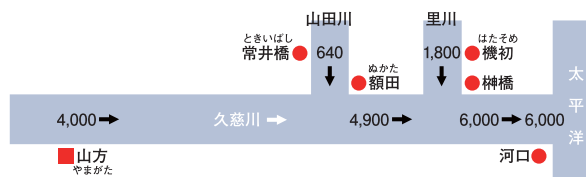
流域住民及び関係機関が協力して、下水道整備や桜川クリーン作戦等の水環境改善策に取り組んでいます。

久慈川・那珂川の計画

久慈川では平成19年度に、那珂川では平成18年度に今後の河川整備の基本となる「河川整備基本方針」が策定され、以下について定められています。

- 水系一貫した河川整備による、洪水に対する安全度の確保。
- 関係機関と連携した水利用の合理化の促進。
- 良好な河川景観を保全し、多様な動植物が息息・生育する豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための河川環境の整備。

久慈川計画流量配分図 [単位:m³/s]



那珂川計画流量配分図 [単位:m³/s]

